情報公開文書

2023 年 8 月 31 日作成

Ver.1

乳癌転移巣における組織学的特徴と予後の関係に関する研究

1、研究の目的と意義

乳癌の治療において、針生検などによりその組織学的特徴を知ることは治療方針を決定する上で不可欠となっています。ホルモン受容体が陽性であるかどうか、HER2 過剰発現があるかどうかなどといった生物学的特徴は患者さんによって異なり、それぞれ最適な治療も異なります。

近年、転移・再発乳癌において、その性質が変化している可能性があることがわかってきました。そのため、転移部位を改めて生検し、その性質を再度調べることが世界的にも推奨されています。

しかし、再度生検するためには侵襲的な検査をしなければならないため、合併症が起こることもあります。

そこで今回、転移巣を生検することによって患者さんにもたらされる益は害を上回るのかを調べるために、実際にどれくらいの確率で生物学的な特徴が変化しているか調査します。

2、対象となる患者さん

2008 年 1 月 1 日～2023 年 7 月 31 日に長崎大学病院で乳癌の転移を疑う病変に対して生検を行った 18 歳以上の患者さん

3、研究の方法

2008 年 1 月 1 日から 2023 年 7 月 31 日までに、当院において乳癌の転移を疑う病変に対して生検を行った症例を対象として乳腺内分泌外科データベースより抽出した情報をもとに後方視的に解析する。

4、研究に用いる情報

乳腺内分泌外科データベースより下記の記録を参照し情報収集を行います。

患者背景：性別、年齢、喫煙歴、月経状況、体重、身長、併存症の有無、前治療歴、乳癌切除日

血液検査結果、病理検査結果、画像検査（胸部 CT、胸部 Xp、PET-CT、マンモグラフィー、乳腺エコー、乳房 MRI）、手術所見、術後経過

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2023 年 12 月 31 日

本研究は研究機関長の許可日より「4、研究に用いる情報」を利用する予定です。

6、外部への情報の提供

なし。

7、研究実施体制

本研究は単施設研究です。

≪研究責任者≫

長崎大学病院　腫瘍外科　稲益英子

〒852―8501　長崎県長崎市坂本 1 丁目 7-1

095-819-7304

8.お問い合わせ先

長崎大学病院　腫瘍外科　稲益英子

〒852－8501　長崎県長崎市坂本１丁目７―１

電話：095（819）7304　　FAX　095（852）7306

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室　095（819）7200

受付時間　　：月～金　　8：30～17：00（祝・祭日を除く）